



地区青少年奉仕委員会では、地区内での青少年奉仕活動を共有するとともに、各クラブの青少年奉仕活動をさらに充実させるため、「青少年奉仕情報」を発行しております。各クラブの青少年奉仕活動をご紹介するだけでなく、インターアクト、ローターアクト、青少年交換、職場・就業体験、RYLA の活動についてもご紹介してまいります。ご愛読、そしてクラブ内への情報共有をよろしくお願ひします。

- 第30号は、青少年奉仕から【保存版】青少年奉仕の基礎用語、
P.3～ インターアクトから「リーダーズキャンプのご報告」、
P.4～ ローターアクトから「三浦慎太郎新地区代表からのご挨拶」、
P.12～ 青少年交換から「来日学生帰国前報告会の報告」、
P.14 RYLA から「私たちのRYLA」などの掲載がございます。

沖縄分区からのインターアクト「慰霊の日」清掃活動の報告（儀部地区インターアクト委員）

6月17日、沖縄分区のロータリークラブ、インターアクトクラブ合同で、6月23日の「慰霊の日」を前に、ハクソーリッジの対面であり、激しい戦闘があった「嘉数高台」（宜野湾市）の清掃活動を行いました。戦後70年が過ぎた今でも、慰霊に訪れる人が後を絶たず、公園や慰霊碑はきれいに整備されています。清掃活動後は献花と黙祷を捧げ、高校生たちと平和について語り合いました。



1. 地区青少年奉仕委員会の活動（ご案内、他）

① 「在京／地区青少年奉仕全体会議」を開催します！

2018年9月20日（木曜日）の午後3時より、新宿にて、「在京・地区青少年奉仕委員会全体会議」を開催します。追ってご案内を差し上げますが、在京各クラブの青少年奉仕担当のみなさまのご出席をよろしくお願ひします。地区インターアクト、地区ローターアクト、地区青少年交換、地区職場・就業体験、地区RYLAの各委員長から、10代、20代の成長の機会をいかにつくるか、また、いかに交流をはかるかについて具体的なヒントをご提供します。

② 【保存版】青少年奉仕の基礎用語

新年度にあたり「青少年奉仕情報」をスムーズにご覧になっていただくための基礎用語をご紹介します。

- ・「インターアクトクラブ」は、12～18歳の中学生・高校生で構成され、地元での清掃活動や募金活動などのボランティア活動を行っています。ロータリークラブの提唱により設立します。当地区には10クラブがあります。
- ・「ローターアクトクラブ」は、18～30歳の大学生・社会人で構成されています。リーダーシップや職業スキルを磨き、ロータリアンなど地元のリーダーと交わり、楽しみながらボランティア活動をしています。ロータリークラブの提唱により設立します。当地区には16クラブがあります。
- ・「ロータリー青少年交換プログラム」は、主に高校生が新しい文化や習慣に触れることで、グローバルな理解に芽生え、平和の土台を築くことを目指しています。プログラムの候補者を「派遣予定学生」、実際に海外に派遣されている者を「派遣学生」、逆に海外から日本へ派遣されてくる者を「来日学生」と言います。このプログラムの終了（帰国）後、大学生としてこのプログラムのサポートを行う者を「ROTEX」（ローテックス）と呼びます。
- ・「職場・就業体験」は、当地区独自の青少年奉仕活動です。職場体験の対象は中学生、就業体験の対象は高校生としております。東京と沖縄分区では大きく事情が異なっており、沖縄はクラブ毎に独自の取り組みをされていますが、東京の場合は、両事業ともに東京都と連携した事業です。本事業は地域におけるロータリーの公共イメージのアップに直接つながる事業です。
- ・「RYLA」（ライラ）は、「ロータリー青少年指導者養成プログラム」（Rotary Youth Leadership Awards）のことです。地域社会の次世代のリーダーがつながり、アイデアを広げ、行動を起こすきっかけを生み出すイベントです。当地区では本年度よりの実施となります。2019年3月1日～3日の2泊3日、沖縄県南城市にある「玉城青少年の家」にて、20～30歳を対象として合宿形式で開催の予定です。

【東京池袋NEXTロータリー衛星クラブ 例会ご案内】

東京池袋NEXTロータリー衛星クラブは、前年度、東京池袋ロータリークラブをスポンサーとして設立されました。メンバーは当地区のローターアクトOBOGを主体として構成されています。現在、月2回、平日夜に、池袋駅周辺で開催しています。30代のロータリアンのみという若いクラブです。「みなさまのメーキャップをお待ちしています」とのことです。

直近の例会日は以下のとおりです。いずれも20時00分、開会点鐘となります。

7/27（金）、8/2（木）、8/24（金）、9/11（火）、9/21（金）

日時・例会場については、下記にお問合せください。

東京池袋NEXTロータリー衛星クラブ 幹事 多田真理

tokyoikbnext.rc@gmail.com



2. インターアクトの活動（ご報告とご案内）（鈴木地区インターアクト委員長より）

① インターアクトリーダーズキャンプ

6月1、2日の一泊二日の日程で第32回インターアクトリーダーズキャンプが国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて開催されました。当キャンプの目的は、各インターアクトクラブの会長幹事やクラブの中心メンバーの成長と在京インターアクターの親睦、クラブ相互の連携です。在京5校よりインターアクター28名、顧問教師6名、ロータリアン14名の参加がありました。

1日目は毎年恒例となりました、参加ロータリアン全員よるミニ卓話がありました。中学生・高校生に伝えたい熱いメッセージを語っていただきました。卓話終了後は参加インターアクター全員より卓話に対する感想が発表されました。ロータリアンとインターアクター約50人を前に壇上で感想を発表することに緊張で詰まってしまうインターアクターもいました。しかし、あまり知らない人たちの前で自分の意見をお話することはインターアクターにとって素晴らしい成長の機会となりました。

2日目のプログラムは8月5日、沖縄で開催されるインターアクト年次大会のために、各校より活動報告と討論会の練習がありました。地元に着した各インターアクトクラブの活動報告は他のインターアクトクラブの活動を理解する有意義な時間でした。討論会では在日アメリカ軍の基地問題・伝統文化の衰退・AI技術の進歩等、中学生・高校生にとっては難しいと感じる題材でした。しかし、青少年らしい斬新な意見とアイデアが発表され活発な討論が繰り広げられました。

インターアクターたちはインターアクト年次大会で再会することを楽しみにしつつ、2日間の大変有意義なリーダーズキャンプは幕を閉じました。

② 第55回インターアクト年次大会のご案内（8月5日）

昭和薬科大学附属高校インターアクトクラブがホスト校、浦添ロータリークラブが提唱クラブとして、絶大なるホスピタリティーのもと、現在、準備をいただいております。インターアクトクラブ年次大会とは一年間のインターアクト活動の集大成として地区内インターアクターが一堂に会して、年間活動の報告と交流を深める貴重な機会です。当地区は沖縄・東京北部と離れていることからインターアクターの交流は難しいため、一年に一度の機会となります。ロータリアンのみなさまにはインターアクトの活動をご理解いただける、素晴らしい機会と確信しておりますので、多くの方のご参加とご登録をお待ちしております（詳細は各クラブ事務局にご案内を送信しております）。

日 時：2018年8月5日(日)、8：30～ 登録受付開始

会 場：昭和薬科大学附属高校（沖縄県浦添市沢岬 450 番地）

3. ローターアクトの活動（ご報告とご案内）（地区ローターアクト広報委員会より）

① 本年度地区ローターアクト代表からのご挨拶

2018-2019 年度、国際ロータリー第 2580 地区ローターアクト（東京北部・沖縄）第 50 代地区ローターアクト代表を務めさせていただきます、三浦慎太郎です。

本年度の地区ターゲットを「Piece」と掲げました。ローターアクトには、私生活では会うことのなかった、さまざまな仲間との出会いがあります。ローターアクトは、その出会った仲間たちと同じ目標を持って一緒に活動ができる、学校や会社では経験できない活動ができる場所です。

Piece とは 1 人 1 人を指しています。地区やクラブは、その 1 人 1 人が集まって、活動をしています。一緒に活動している仲間達の Piece を今まで以上に熱く輝かせ、最大限に個性が発揮されることで、より魅力的な地区・クラブにしていきたいと思えます。そのために本年度は、「クラブに寄り添う地区」をテーマにクラブとローターアクターを第 1 に考え地区運営を行っていきます。まだどんな絵になるか想像が付きませんが、2580 地区みんなの Piece を組み合わせていき、当地区だからこそ作ることのできる、「気持ちのパズル」を完成させたいと思えます。



② 直前地区ローターアクト代表 ～1 年間を振り返って～

2017-2018 年度、国際ロータリー第 2580 地区ローターアクト代表を務めました小笠原聡です。前年度はたくさんの方からのご支援をいただき任期を終えることができました。改めてお礼申し上げます。

この 1 年間は、私の 20 代の中で最も充実した時間となりました。世代や地域を超えたさまざまな方と関わり、計 13 回の地区行事を運営しました。また、ロータリーファミリーの行事に出席することで、ローターアクトの周囲からの評価を拝聴し、客観的な目線を広げる 1 年間になりました。

私が感じたローターアクトの魅力は自律性を持った組織という点です。ロータリークラブからのご支援・ご指導のもと、運営が成り立つ組織のため「自立」をしていることはありませんが、ローターアクター自らが目標を設定して、自分たちの理想とするクラブ運営を目指す姿は「自律」をしていると感じます。

これからのローターアクターは、この環境を存分に活かして勇気を持って自分の想いを形にして欲しいと思えます。失敗を繰り返しても、懸命に取り組めば挽回のチャンスをもたらせる環境がローターアクトです。また、ロータリアンには、失敗を繰り返すローターア



クトの運営を温かく見守っていただきました。これからも、時に間違えながらも、前に進もうとする姿勢をご理解いただけますと幸甚です。ローターアクトに携わっていただいた全ての方に、1年間本当にありがとうございました。

③ 第49回ローターアクト年次大会ご報告

2018年6月2日に浅草橋ヒューリックホールにて、第49回ローターアクト年次大会を開催しました。当日は200名を超えるご出席をいただきまして誠にありがとうございました。この場を借りて改めて感謝申し上げます。拙い進行でお見苦しい点もあったかと思いますが、大会テーマである「時不知(ときしらず)」のごとく、「時を忘れるほどの楽しい時間」が提供できておりましたら幸いです。



ローターアクト年次大会は1年の成果報告の場でもあり、ローターアクトの1年間の成長の証を示す場でもあると考えております。その意味でも「時不知」が本来の表す、時期外れの鮭のように脂ののったイキのいい姿を多くの方にお見せすることができたと同時に、新たなローターアクトの可能性をつかむことができた1日でした。

(第49回地区ローターアクト年次大会実行委員長 山田裕規)

④ 東京東ローターアクトクラブ

◆本年度の3役紹介：会長 河村一輝、幹事 飯塚勇太

◆活動報告：5月29日(火) 「次年度打ち合わせ例会」

東京東ロータリークラブのローターアクト委員長、山下岳英様と東京東ローターアクトクラブのメンバーで前年度の成果報告と、本年度の打ち合わせ例会を行いました。

成果報告では、第49回ローターアクト年次大会「THE COUNTDOWN ACT」にて東京東ローターアクトクラブの例会が上位トップ10に二つのランクインしたことをご報告しました。本年度への打ち合わせでは主に会計に関する相談と、例会の企画立案をロータリアンと一緒に行了しました。次年度は会長河村の下で今まで東京東ローターアクトクラブ内で出来なかった例会を積極的に取り組んでいきたいと思っております。

⑤ 東京荒川ローターアクトクラブ

◆本年度の3役紹介：会長 HsuPengHsiang、幹事 後藤周

◆活動日：毎月第2金曜日、第4土曜日

◆活動報告：5月20日(日) 「都電荒川線例会」

5月20日、毎年恒例の「都電荒川線例会」を開催しました。荒川区に深い歴史のある都電荒川線に乗り、食べ歩きをしたり、各チェックポイントでゲームをして交流を深

めつつ、荒川の風情を楽しみました。ゲームの中では、「インスタ映えする写真を撮る」といったミッションもあり、若いメンバーにも親しみやすい内容にするよう心がけました。

⑥ 東京池袋ローターアクトクラブ

◆本年度の3役紹介：会長 山崎帆洋、幹事 山田遊、会計 篠崎真樹

◆活動日：月2回 不定期

◆活動報告：6月30日(土) 「卒会式」

6月30日(土)の18:30から、上池袋コミュニティセンターにて、6月第2例会「卒会式」が開催されました。

東京池袋ローターアクトクラブの前年度の卒会者は、齊藤綾・佐藤裕の2名でした。お二人からは、ローターアクト活動から得たもの・学んだものをお話いただき、会員はアクト活動の意義を見つめ直しました。

また、前年度会長の細野からは、準備が全てであること、同じ時間を共有することの大切さ、思いやりなど、1年間の経験から改めて大切であると感じたことが共有されました。本年度の山崎会長・山田幹事・篠崎会計からは、1年間どのように活動していきたいか、抱負が語られました。

その後、会員から卒会者へ・会長から幹事及び会員へ・会員から会長へ・会長から幹事へ、ローターアクト活動の慰労の意を込めて、プレゼントが送られました。年度の切り替わりに合わせて、卒会者から想いを引き継いだ、素晴らしい例会となりました。



◆おすすめ例会情報：7月第2例会 「東京フラフェスタ in 池袋 例会」

開催日：7月21日(土)

受付開始：9:30 開会点鐘：10:00 (全日でなくてもOK!参加できる方は是非!)

登録先：山田遊(y.steady.y@gmail.com)

⑦ 東京江戸川ローターアクトクラブ

◆本年度の3役紹介：会長 原之園卓也、副会長 片淵元、幹事 上平将太

◆活動日：毎月第2、4金曜日

◆活動報告：5月25日(金)

「東京江戸川ロータリー菅谷様による特別卓話」

5月25日(金)、17:30から野村証券小岩支店で東京江戸川ロータリークラブの菅谷様による「飛行機の飛ぶ原理、滑走路について」の卓話が開催されました。

菅谷様は以前、日本航空にお勤めになられており、その経験から3度にわたって卓話をしていただいております。



ります。普段は目にするのでできないコックピットの中の写真を見せていただいたり、滑走路の仕組みなど普段は聞くのでできないお話しをお伺いさせていただいております。

⑧ 東京ローターアクトクラブ

◆本年度の3役紹介：会長 神尾友彬、幹事 小柳宜久、会計 奥村茉以子

◆活動日：毎月第3土曜日(1、8月は除く)

◆活動報告

5月度例会テーマ「ビール国産化に挑んだ男たち」

サッポロビールホールディングス株式会社の上條務様のご厚意により、文化広報顧問の端田様による卓話とエビスビール記念館の見学の機会をいただきました。田端様による卓話は、ビール産業によって日本の国際化を進めようとした若者たちの興味の尽きない活躍に惹きつけられるものでした。国や文明における食文化というもののが対外的に如何に大きく評価されるというお話しに、現代においても文化を守るべき理由についてつながるものだと思います。その後の記念館の見学では改めてエビスビールについての歴史とその味わい方についての作法を学び、美味しいビールに舌鼓を打ちました。



6月度例会テーマ「囲碁の話」

上西会員が自身の特技である囲碁についての卓話を設けました。最新の技術への話題にも触れ、ゲームの持つ世代を超えたコミュニケーションの可能性や、実際に参加者全員が囲碁を打つという濃厚な時間を過ごしました。また、例会後はお世話になった卒会生と本年度のローターアクト委員長である國分様に感謝の気持ちを伝えさせていただきました。



⑨ 東京東江戸川ローターアクトクラブ

◆本年度の3役紹介：会長 麻生貴裕、幹事 齋藤佑衣、会計 一柁みわ

◆活動日：毎月第1、第3土曜 18:00~19:00

◆活動報告：6月16日(土)

「2017-2018年度最終例会」

6月16日に2017-18年度最終例会を開催しました。本例会では、活動報告、3役挨拶そして2018-2019年度の3役挨拶を行いました。

クリスティーン会長のもと、12月第2例会のGala



「青少年奉仕情報」

パーティーなどを通してクラブ内だけでなく、様々なクラブの仲間と親睦を深めることができました。クリスティーン会長の性格、想いが反映された素晴らしい1年でした。

◆おすすめ例会情報：7月第2例会 「クラブしらさぎボランティア」

開催日：7月29日(日) 9:00~12:00 (8:00 船堀駅集合)

場所：東京都白鷺特別支援学校 (東京都江戸川区東小松川 4-50-1)

内容：ボッチャ、スイカ割り

持ち物：体育館内で履く内履き、動きやすい服(必要に応じて着替え)

登録先：幹事 齋藤 佑衣(saito_oui@yahoo.co.jp)

⑩ 嘉悦大学ローターアクトクラブ

◆本年度の3役紹介：会長 上川名翼、幹事 吉海幹生

◆活動日：毎週木曜日、必要に応じて土、日曜日

◆活動報告：6月28日(木) 「引継例会」

嘉悦大学ローターアクトクラブでは毎年、年度が代わる6月最終木曜日に新年度に向け「引継例会」を実施します。前年度も例年通り、学内において2018-2019年度に向けメンバーの気持ちを高めるために実施しました。当日は提唱クラブ東京小平ロータークラブ幹事の麻健様にご参加いただき、担当者の長谷川を中心に、本年度の理事メンバーによる今期の振り返り、新会員の紹介、次年度の理事会メンバーによる意気込みなどを話し、新年度のメンバーにバドンを渡しました。また、出席率92.3%という高い結果となり本年度への思いを強く感じました。



⑪ 東京ワセダローターアクトクラブ

◆本年度の3役紹介：会長 Thiago Bach、幹事 中村瑛美、会計 小山祐実

◆活動日：毎月第2土曜日、第4土曜日

◆活動報告：5月19日(土)「赤十字減災セミナー」

5月19日、5月第2例会として「赤十字減災セミナー」を開催しました。日本赤十字社東京支部から2名の方を講師としてお招きし、災害の歴史や命を守る実技について講習を行いました。

セミナーでは東日本大震災が起きた際に日本赤十字社で行った活動や、減災に必要な3助(自助、共助、公助)、首都直下型地震が起きた際の減災方法等、スライドを使って説明して頂きました。実技では、



人工呼吸やAEDの使い方、身近なもの（ビニール袋、ハンカチ、ストッキング）を使った応急手当の方法について学びました。また、三角巾を使った止血の方法や手の固定方法も2名1組に分かれて練習しました。

講義の中で、「100のことを知っている人が1人いるよりも、1つのことを知っている人が100人いた方が災害時には役に立つ」というお話を伺っていたこともあり、参加者は1つでも多く覚えて帰ろうと熱心に実技を行っていました。応急手当の方法も繰り返しやってみないことには忘れてしまいます。今回のような減災セミナーを定期的に設けることの大切さを改めて感じました。

◆おすすめ例会情報：

①7月第2例会 「弁天町ファミリーフェスタ」

開催日：7月22日・23日、場所：東京都新宿区弁天町24

受付開始：16時、開会点鐘：18時

登録先：幹事 中村瑛美(eimimongolia@gmail.com)

②8月第1例会 「ローターアクト研究会」

開催日：8月11日(土)、場所：東京ワセダローターリークラブ事務局

受付開始：13:30、開会点鐘：14時

登録先：幹事 中村瑛美(eimimongolia@gmail.com)

⑫ 東京板橋セントラルローターアクトクラブ

◆活動報告：5月31日(木)「下半期振り返り例会」

5月31日、マイスペース&BB池袋西武横店にて下半期の振り返り例会を開催しました。上半期同様に月に1度の例会でもなかなか会員の予定を合わせることが出来ずに1年が終わってしまったので、安定してみんなが集まれるようにしていきたいと思いました。

⑬ 東京浅草中央ローターアクトクラブ

◆本年度の3役紹介：会長 島田大資、幹事 北部梨奈、会計 島崎駿

◆活動日：毎月第2・4土/日曜日

◆活動報告：6月17日(日)

「納会 ～良きところで～」

当クラブで前年度最終例会となる「納会 ～良きところで～」を開催致しました。前年度のクラブターゲット「わっしょい！」にかけて、前年度1年間でどんな輪をつくってきたか、今後その輪をどうしていきたいか、参加者の皆さんと話し合いを行いました。



最後の例会ということで、三浦直前会長が作成したサプライズ動画が上映されたり、会員からもプレゼントが贈呈されたりなど、感動のシチュエーションが目白押しの納会でした。

前年度、地区ローターアクト代表を務めた小笠原代表から、本年度地区ローターアクト代表の三浦代表、そして、会長を影ながら支え続けた本年度クラブの幹事を務める北部会員や副会長を務める金谷会員をはじめ、クラブ会員の輪がさらに繋がった姿を、目に焼き付けられた感動の例会となりました。

本年度、東京浅草中央ローターアクトクラブは島田会長を中心に地域に密着した例会を行っていきます。

◆おすすめ例会情報：8月第2例会 「浅草サンバカーニバル」

開催日：8月25日（土）

開催場所：浅草 馬車道通り 雷門通り

受付開始：16:00、開会点鐘：16:30、閉会点鐘：18:00

登録料：RC・RAC・ビジター500円

登録締切：2018年8月18日（土）

登録先：幹事 北部 梨奈(chichomara.09@gmail.com)

⑭ 東京池袋西ローターアクトクラブ

◆本年度の三役紹介：会長 山下和歌子、幹事 神田亜衣子、会計 高橋希美香

◆活動日：毎月第1月曜日

◆活動報告：6月22日（土）「BBQ例会」

大変お世話になった皆様と一緒にBBQを行いつつ、本年度の活動報告を行わせていただきました。参加者の中で食材や飲み物を持ち寄り、分け合うことでロータリーの歯車のような一体感が生まれました。季節は梅雨にも関わらず、お天気に恵まれ1年間の活動を振り返り、会長幹事をはじめ、地区役員でお世話になった方々へ感謝の気持ちを伝える素晴らしい会となりました。



また同時に、合同例会ということで、より多くのロータリアン・ビジターの方々や他ローターアクトクラブ会員との新たな出会いを果たすと共に、次年度の活動に向けてのインスピレーションが得られる刺激的な会にもなりました。

⑮ 東京上野ローターアクトクラブ

◆本年度の三役紹介：会長 船造俊之、副会長 園部恵里、会計 永井重人

◆活動日：毎月第1土曜日、3水曜日（移動例会等により不定期の場合あり）

◆活動報告：5月16日（水）「東京上野ローターアクトクラブチャーターナイト」

活動の第一歩として、チャーターナイトを東京上野ロータリークラブと協働で執り行いました。半年間の準備期間を経て、徐々にメンバーの結束を強めることができ、最高のスタートを切ることができました。また、当日は初めての例会にもかかわらず100%の出席率となりました。

6月14日（木）「基礎から学ぶ RAC 講座」

活動はコンスタントに行ってはいるものの、体系的にローターアクトを理解する機会が今までになかったため、東京上野ローターアクトクラブの会員向けにセミナーを行いました。定款に基づいたルールの側面と、実態に即した側面と、2つのアプローチから理想的なチームの姿について理解を深める機会となりました。



ローターアクトクラブ例会へのお誘い

各ローターアクトクラブから「おすすめ例会」として、ローターアクトクラブ例会などのご案内がございます。この例会については、未提唱クラブのロータリアンのご出席を歓迎しているものです。ぜひ、ご興味ございましたら、ローターアクト活動に直に触れていただければと存じます。青少年奉仕はまず青少年に会うことからです。お問合せやお申込みは「登録先」のメールアドレスになります。

ローターアクトクラブ例会への出席は、ロータリアンにとってもメーキャップになります。

【インターンシップ成果発表会のご報告】

6月1日、「なかのZERO」の小ホールにて、「平成30年度 国際ロータリー第2580地区と東京都教育委員会との連携によるインターンシップ成果発表会」が開催されました。この発表会は高校生のインターンシップ受入れ（当地区では本年度より「就業体験」と呼称変更）について当地区と東京都教育委員会との連携10周年を記念するものです。当日は、ロータリアン、東京都教育委員会の職員のほか、インターン派遣を行う都立高校の校長、教員、そして、生徒が出席しました。東京都教育委員会から吉田雅俊ガバナー（当時）への感謝状が贈呈され、吉田ガバナーからご挨拶がありました。また、都立赤羽商業高校の校長、東京本郷ロータリークラブの会員、ホテルカデンツァ光が丘の支配人からインターンシップの実践発表が行われるとともに、都立葛飾商業高校、都立赤羽商業高校、都立武蔵村山高校など7校の生徒からインターンシップの報告も行われました。学校としてキャリア教育の意義、受入れ事業所への好影響、生徒の成長という成果を感じることができました。



4. 青少年交換の活動（ご報告）

① 茶道稽古

2017-2018 年度来日学生及び第 54 期派遣学生を対象にした茶道稽古が、裏千家東京茶道会館「今日庵」（東京都新宿区）で行われました。5 月 6 月も月 2 回のペースでお稽古させていただきました。6 月 2 日（土）のお稽古では、茶道のご指導を頂戴している先生より 2017-2018 年度来日学生に許状が授与されました。



② 第 55 期派遣学生選考試験

6 月 10 日（日）、午前 10 時より、ホテルメトロポリタン（東京都豊島区）にて国際ロータリー第 2580 地区第 55 期派遣学生の選考試験が行われました。中学 3 年生から高校 2 年生の男女計 17 名が受験し、英語筆記（英文和訳、和文英訳）・小論文・面接に取り組みました。

地区青少年交換委員会の委員による厳正なる選考の結果 9 名が合格しました。なお、沖縄区分は独自に試験を行い 1 名が選ばれますので、第 2580 地区第 55 期派遣学生は合計 10 名ということになります。合格者は 2019 年夏の派遣に向けての準備として、オリエンテーション、サマーキャンプ、茶道稽古、フィールドトリップ、ジャパンツアー等を経験していくこととなります。選考試験合格はゴールではなく、ロータリーの交換留学生としてのスタートの第一歩であることを肝に銘じて派遣までの一年間をしっかりと過ごしていただきたいと思います。

③ 来日学生帰国前報告会、来日学生・第 54 期派遣学生 合同歓送会

2017-2018 年度来日学生帰国前報告会が、6 月 17 日（日）、午後 1 時 30 分よりホテルメトロポリタン（東京都豊島区）にて行われました。来日学生一人一人が登壇し、1 年間の日本での生活について日本語でスピーチを行いました。いずれも大変立派なスピーチで、1 年前日本語が全く分からない状態で来日したサマーキャンプのときの様子と比べると、日本語も上達し、人間的にも大きく成長した姿を披露してくれました。スピーチの中から幾つかをご紹介します。

- ・日本に行きたかったのが、アプリケーションフォームに 10 秒で「日本」と書いた。
- ・来日前は不安があったが、サマーキャンプで友達ができ、その友達と日本についてい

ろいろ学べて良かった。

- ・サマーキャンプやジャパントアラーはインバンド（来日学生）とアウトバンド（派遣予定学生）が接近するチャンス。とても楽しかった。素晴らしい友情が生まれた。
- ・6つのホストファミリーに世話になった。正直大変だったが、それぞれの生活スタイルを経験できて良かった。
- ・学校では文化祭や体育祭を楽しんだ。母国（メキシコ）にはそのような学校行事が無いから。
- ・雪を初めて見た。スキーも初体験した。
- ・一生付き合える友達を得た。
- ・ホストファミリーに初めて浅草のお寺に連れて行っていただいた。それまで知らなかった静けさに触れ、その雰囲気恋をした。
- ・ジャパントアラーで一番楽しかったのは鳥取砂丘。子どもの気持ちになった。日本の海は（母国の）ブラジルの海と比べてとても静か、まるで日本の国民みたい。
- ・漢字より単語が難しい。例えば、「かみ」は神、紙、髪がある。
- ・誕生日の翌日に日本に出発。まるで誕生日プレゼントのようでとても嬉しかった
- ・クラブ（部活）に入ると友達ができるから良いよ、とアドバイスされ、それに従った。ほんとうに友達に出会えた。
- ・（ジャパントアラーの際に広島で行った）平和ディカッションが良かった。
- ・日本での素晴らしい体験を帰国後家族や友達に話すのが楽しみ。
- ・和食が大好きになった。
- ・ステイ先は沖縄だった。沖縄が戦争に巻き込まれ、（沖縄の人が）力をあわせて復興した歴史を知ることができた。
- ・友達に（母国の）スペインに行っても良いかと聞かれるととても嬉しい。自分も日本に戻ってきたい。
- ・自分の将来のビジョンが見えた。大学では国際関係論を学び、世界をもっと知りたい。
- ・ロータリーのサポートで留学できたことに感謝しています。
- ・留学が私を変えた。これからは、考え方を良くして、新しい私として生きていく。

吉田雅俊ガバナーから「日本と皆さんの国の懸け橋になっていただくことは素晴らしいことだと思います」というご講評をいただき、最後に来日生を代表してドイツ（第1820地区）より派遣の **Juliane Charlotte Paula STREIT** から「立派な日本人になりました。帰国したら日本の文化を母国に伝え、親善大使になることを約束します」との謝辞が述べられ、来日学生帰国前報告会は無事終了しました。その後、同じホテル内の別の会場に場所を移し、来日学生・第54期派遣学生合同歓送会が行われました。6月10日の選考試験をパスした第55期派遣予定学生10名の自己紹介、派遣国への出発日が迫る第54期派遣学生の力強い決意表明が行われ、ローテックスから来日学生一人一人に記念品が贈呈されました。お開きになった後も、学生たちは写真を取りあったり、ハグしたり、時間を忘れて別れを惜んでいる様子が印象的でした。

④ ローテックスチェンジオーバー

6月30日、サマーキャンプにはじまりフィールドトリップ、ジャパンツアー等々で本年度のインバンドとアウトバンドを青少年交換留学生の先輩の立場として、時に優しく時に厳しく、お世話しサポートしたローテックスのチェンジオーバーが行われ、一人一人に記念品と花束が贈呈されました。地区からは青少年交換委員と青少年奉仕委員が参加し、ローテックスのOB・OGも多数駆けつけ、梅雨明けの夏陽のもと、リゾート感溢れるシンガポール料理のレストランで楽しくかつ和気藹々と本年度大活躍したローテックスを労いました。



【地区 RYLA 委員会より / 「私たちの RYLA」】(嶋村文男地区 RYLA 委員長より)

みなさまのクラブにも先月末までに「スタートアップ RYLA」という、沖縄の美しい海をバックにした RYLA のチラシが届いたと思います。裏面には、今年度の RYLA プログラムのテーマ「心にふれ合う」と参加要項・参加申込書等が記載されています。ぜひもう一度チラシを見直し、クラブ内での RYLA への受講生を探し出す為のディスカッションの場を作っていただきたいと願っています。

おかげさまで地区内 70 クラブのうち、7月10日現在、実施済みを含めて 36 クラブから卓話のご依頼をいただき、私たち 10 名の地区 RYLA 委員で手分けして RYLA の理解推進と受講生推薦のお願いに回っています。

私は、昨年 1 月、第 9 回全国 RYLA 研究会に参加させていただき、現在の松坂順一ガバナーに、本年度立ち上げとなる地区 RYLA 委員長への就任打診を受けその準備に入りました。他地区の RYLA を参考にしようと第 2830 地区(青森県)、第 2590 地区(神奈川県横浜・川崎)そしてお隣の第 2750 地区の RYLA に地区 RYLA 委員の就任をお願いしたメンバーと見学参加させていただきました。その後、準備委員会を重ね議論する中で「ロータリーらしい RYLA」を作り上げたいという気持ちが強くなりました。そして、第 2670 地区(四国 4 県)、第 2680 地区(兵庫県)が小豆島の余島で行う RYLA をモデルにしようという方向性を見出し、今年 5 月 24 日～27 日に委員 4 名と共に 2018 JAPAN RYLA セミナーにも参加して来ました。

私たち第 2580 地区の特徴の一つに沖縄県が同じ地区であることが挙げられます。自然豊かな沖縄の地で、日常と異なった共同生活の中で初めて出会った友人と自己を見つめ直し、ロータリーの心・奉仕の心にふれ合う中で語り合うことの出来る RYLA 作り出そうと考えています。ですので、私たちの RYLA は企業型の研修や自己啓発セミナーとは一線を画しています。

ロータリーの心にふれ合う RYLA を通じて、自発的に横のつながりで仕事をするようなヨコ型リーダーシップ、チームワークを大切にすることを参加した受講生に感じ、考える機会を与えるような私たちの RYLA プログラムを作り出そうと考えています。

「青少年奉仕情報」第30号発行にあたって

各クラブのみなさまにおかれましては、日頃より青少年奉仕活動にご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。誠にありがとうございます。

いよいよ2018-2019年度がスタートしました。本年度最初の「青少年奉仕情報」をお届けいたします。青少年奉仕活動は継続事業ですので、年度が替わり7月1日から何か急にガラッと変わるというものではありません。地区委員の入れ替わりは行われますが、それでも青少年奉仕としての活動は途切れることなく動いています。したがって、青少年奉仕にかかわるロータリアンにとりまして年度替わりは、「気持ちを新たにす」節目のような捉え方もできるのではないかと考えています。気を引き締めて取り組んで参ります。

さて、松坂順一ガバナーの地区ターゲットは「研修と活性化」です。地区五大奉仕の一翼を担う地区青少年奉仕委員会では、RYLA委員会と学友委員会が新たに加わりました。各被包括委員会間の情報共有をはかりながら、委員会運営を盛り上げて青少年奉仕全体の「活性化」を推進していきたいと考えております。本年度も本誌「青少年奉仕情報」を発行して、各クラブのみなさまに地区及び各クラブの青少年奉仕活動の「今」を情報発信して参ります。各クラブにおかれましては、「青少年奉仕情報」から得る情報をクラブの今後の青少年奉仕活動のヒントとしていただき、ますますの活動の活性化にお役立ていただければ幸いです。

一年間どうぞよろしく願い申し上げます。

地区青少年奉仕委員長 松岡浩（東京本郷ロータリークラブ）

今号も最後までお読みいただき、誠にありがとうございました。

クラブから、青少年奉仕活動の開催情報・ご報告（写真のデータとキャプションだけでもかまいません。随時募集中です）、また、本誌へのご意見・ご質問などをお待ちしております。

お問い合わせ／掲載希望などの連絡先

地区青少年奉仕委員会（担当；茂木）まで mitsu-motegi@msc.biglobe.ne.jp